教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.1

授業科目名	歯科英語　講義 / 実技 / 演習	担当教員	鶴見大学文学部非常勤講師 内田　愛
授業コード	英-2024-1講-前・後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	月・金 曜日　15回　30時間	単位	
時　限	1・2・4 限　9:00～10:30　10:40～12:10　14:40～16:10	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また
歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考		
1 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
2 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
3 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
4 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
5 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
6 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
7 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
8 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
9 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	内田	2
1回目	dental anatomy word of direction	プリント使用	永嶋	2
2回目	dental Thepermanent teeth, deciduous	プリント使用	永嶋	2
3回目	dental Tooth composition	プリント使用	永嶋	2
4回目	dental Central incisor, Cuspid	プリント使用	永嶋	2
5回目	dental First premolar	プリント使用	永嶋	2
6回目	dental Maxillary first molar	プリント使用	永嶋	2

評価方法　total　30

中間試験と学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科英語　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.2

授業科目名	人間共生学　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	人-2024-2演-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月～金 曜日　30 回　60時間	単位	携　帯　－　－
時　限		2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

職業従事者として必要な人と接する姿勢を修得するために、共生学に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
16回	グループに分かれて卒業研究発表を行う。グループ作成		2
17回	各グループに分かれて研究テーマを作成		2
18～20回	各グループに分かれてテーマに対し研究		14
21～23回	論文作成		8
24～25回	研究発表内容のﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ作成		10
26回	研究発表予行練習		16
27～30回	研究発表		8
		total	60

評価方法

研究テーマ、論文、口頭試問、発表態度等を勘案し評価を行う。

教科書	各テーマに合った教本を使用
副読本・資料	最新歯科技工士教本・最新歯科衛生士教本等
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.3

授業科目名	歯科技工概論　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	概-2024-1講-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月 曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	4限　14:40 ～ 16:10	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標　歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。

到達目標：①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1回目	第6章　歯科技工で扱う材料・器具	勝田	2
2回目	第1章　歯科医療と歯科技工　1	勝田	2
3回目	第1章　歯科医療と歯科技工2，3，4	勝田	2
4回目	第2章　歯科技工士の役割　1，2，3	勝田	2
5回目	第3章　歯および口腔組織の形態と機能　1，2	勝田	2
6回目	第3章　歯および口腔組織の形態と機能　3	勝田	2
7回目	第4章　歯科疾患と歯周組織の変化　1，2、3、4	勝田	2
8回目	第4章　歯科疾患と歯周組織の変化　5，6，7，8、9，10	勝田	2
9回目	第5章　歯科臨床と歯科技工　1，2	勝田	2
10回目	第5章　歯科臨床と歯科技工　3、5，6，7，8	勝田	2
11回目	第6章　歯科技工の管理と運営　1，2，3	勝田	2
12回目	第7章　口腔と全身の健康管理　1，2，3，4	勝田	2
13回目	第7章　口腔と全身の健康管理　5，6	勝田	2
14回目	第8章　情報リテラシー	勝田	2
15回目	第9章　コミュニケーション	勝田	2

評価方法	出席状況（2/3以上）および期末テスト（60％以上）で評価する。	total	28

教科書	最新歯科技工士教本　歯科技工士管理学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.4

授業科目名	歯科技工士関係法規　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	法-2024-2講-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	4 限　14:40 ～ 16:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。

※1. 衛生行政の概要を把握し、法律と厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明する。2. 歯科技工士法の目的、用語について説明する。3. 歯科技工士免許について説明する。4. 歯科技工士試験について説明する。5. 歯科技工士業務について説明する。6. 歯科技工所の開設について説明する。7. 雑則、罰則、附則について説明する。8. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との関わりについて説明する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	衛生行政の概要	2
2 回目	歯科技工士法1	2
3 回目	歯科技工士法2	2
4 回目	歯科技工士法3	2
5 回目	歯科技工士法4	2
6 回目	歯科技工士法5	2
7 回目	歯科技工士法6	2
8 回目	歯科技工士とその他の衛生法規	2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科技工管理学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.5-1

授業科目名	解剖学基礎Ⅰ　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	解基1-2024-1講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月 曜日　14 /24 回　28/48時間	単位	携　帯　－　－
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	3単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の生物学的特性　歯の外形と内形　歯の種類と名称と記号　歯の方向と部位　歯の形態と植立様式　永久歯の形態的特徴　歯の組織と歯周組織の構造　歯の発生、発育および交換　歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象　歯の数、形態および色の異常　歯列と咬合について学ぶ　※頭蓋骨の構造　顎顔面の筋の形態的特徴と機能　顎口腔の神経支配　顎関節の構造と機能　口腔と口蓋の構造　唾液腺の存在部位と役割　舌の構造と役割について学ぶ

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	歯の定義、機能、特性		2
2 回目	植立、外形と内形		2
3 回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯式		2
4 回目	歯の名称、歯の形の概説		2
5 回目	上顎切歯、下顎切歯、犬歯		2
6 回目	上顎小臼歯、下顎小臼歯		2
7 回目	上顎大臼歯、下顎大臼歯		2
8 回目	乳歯		2
9 回目	歯の発生、歯の組織、歯周組織		2
10 回目	歯および歯周組織の加齢現象、歯の異常、歯列、咬合		2
11 回目	脳頭蓋骨、顔面頭蓋骨		2
12 回目	口腔周囲の筋と神経、顎関節		2
13 回目	口腔の隣接機関、口腔、口蓋、唾液腺		2
14 回目	舌、咽頭、喉頭		2
		total	28

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　口腔、顎顔面解剖学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.5-2

授業科目名	解剖学基礎Ⅰ　講義 / 実技 / 演習	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学　特任教授 氏名　松尾雅斗
授業コード	解基1-2024-1講-前・後	連絡先	
分　類	必　修　・　選択必修		
学　年	１年　・　２年		
学　期	前　期　・　後　期*		TEL
曜日・回数	火 曜日　10 /24 回 20/48時間		携　帯
時　限	2限　10:40～12:10		E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科技工士になるためには、正常な歯や口腔顎顔面の『かたち』を知ることは必須です。本科目は口腔と顔面を構成する解剖学的構造を知る「口腔の形態と構造」、歯を構成する組織構造を顕微鏡的に知る『歯の硬組織と歯髄』、そして顎運動と神経の運動機能を知る『顎口腔系の機能』の3ユニットから構成されています。これらの基礎的な知識を総合して理解することで歯科技工士として歯科臨床科目に対応できることを目標とします。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	口腔の形態と構造(1)：顎顔面の骨(1)上顎骨と口蓋骨		2
2 回目	口腔の形態と構造(2)：顎顔面の骨(2)下顎骨と舌骨		2
3 回目	口腔の形態と構造(3)：頭頸部の筋(1)咀嚼筋		2
4 回目	口腔の形態と構造(4)：頭頸部の筋(2)舌骨上筋と表情筋		2
5 回目	口腔の形態と構造(5)：顎関節と下顎運動		2
6 回目	口腔の形態と構造(6)：演習・頭蓋骨モデルの観察		2
7 回目	口腔の形態と構造(7)：演習・頭蓋骨モデルの観察		2
8 回目	口腔の形態と構造(8)：口腔内臓と咽頭		2
9 回目	歯の硬組織と歯髄(1)：歯と歯周組織の組織構造		2
10回目	歯の硬組織と歯髄(2)：歯と歯周組織の発生・加齢		2

評価方法	本試験(40%)・授業内試験(40%)・提出物(20%)	total	20

教科書	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版） 口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)
副読本・資料	
その他	色鉛筆を用意して下さい

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	解応-2024-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　-　-
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の形態や特徴、歯や顔面の発生、歯の組織、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて総合的に応用する。

※学生が、歯の解剖・口腔解剖について知り、各内容について分類、説明ができ問題を読み解くことを目的とする。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	歯の概説と特徴　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
2 回目	歯の鑑別・永久歯の形態　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
3 回目	歯と歯周組織　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
4 回目	歯の発生・歯列と咬合　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
5 回目	頭蓋の骨　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
6 回目	口腔周囲の筋　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
7 回目	歯と歯周組織　、口腔、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
8 回目	歯の解剖・口腔解剖総まとめ　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.7

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅰ　講義 実技 演習	担当教員	Sway Dental Lab 片川　紘輔
授業コード	彫刻Ⅰ-2024-1実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	火　曜日　45回　90時間		携　帯　－　－
時　限	3・4限　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2回	歯型彫刻	用語説明・デッサン描記	担当　勝田	4
3～4回	歯型彫刻	デモ　・彫刻	担当　勝田	4
5～12回	歯型彫刻	石膏彫刻とﾃﾞｯｻﾝ(1回に彫刻1本、ﾃﾞｯｻﾝ1枚)	担当　勝田	16
13～14回	歯型彫刻	形態説明・彫刻	担当　片川	4
15～45回	歯型彫刻	石膏彫刻とﾃﾞｯｻﾝ(1回に彫刻1本、ﾃﾞｯｻﾝ1枚)	担当　勝田	62

評価方法　total　90

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.8

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅱ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	彫刻Ⅱ-2024-2実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	火　曜日　15回　30時間		携　帯　-　-
時　限	3・4時限　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の歯冠形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～11回	歯型彫刻	石膏彫刻とﾃﾞｯｻﾝ(1回に彫刻1本、ﾃﾞｯｻﾝ1枚)	担当　小口	22
12.13回	歯型彫刻	形態説明・彫刻	担当　小口	4
14.15回	歯型彫刻	彫刻刀の使い方等を1年に説明	担当　小口	4

評価方法		total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・学期末テストによって評価する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.9

授業科目名	顎口腔機能学　基礎　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島　俊士
授業コード	顎基-2024-2講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	木 曜日　10 回　20時間	単位	
時　限	4 限　14:40～16:10	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　顎口腔系の構成要素ごとにそれぞれの機能を学習し、咬合器を通じてそれらを実現する製作手順を修得する。

※　歯列・顎関節・筋肉・神経によって構成される顎口腔系の機能を説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	顎口腔系の形態(1):歯と歯列・骨・筋		2
2 回目	顎口腔系の形態(2):顎関節・軟組織・神経		2
3 回目	顎口腔系の機能	小テスト(1)	2
4 回目	下顎位		2
5 回目	下顎運動(1)下顎の基本運動		2
6 回目	下顎運動(2)下顎の限界運動・機能運動		2
7 回目	歯の接触様式(咬頭嵌合位)	小テスト(2)	2
8 回目	歯の接触様式(偏心咬合位)		2
9 回目	咬合器:機構と分類・ﾌｪｲｽﾎﾞｳﾄﾗﾝｽﾌｧｰ・咬合採得	小テスト(3)	2
10 回目	咬合検査と顎機能障害		2

評価方法　total　20

学期末テストによって評価する、小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本　顎口腔機能学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.10

授業科目名	顎口腔機能学　応用　（講義）・実技・演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島　俊士 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	顎応-2024-2講-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	（必　修）・選択必修		
学　年	1年　・（2年）		
学　期	前　期　・（後　期）		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月・木 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	2 限　10:40～12:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式、技工物製作に使用する咬合器について深く理解し、分類するために総合的に実施する。

※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	顎口腔系の形態・機能	オリジナル編集問題の解答・解説	2
2 回目	歯の接触様式・咬合器	オリジナル編集問題の解答・解説	2
3 回目	歯と歯列・顎口腔系を構成する骨・顎口腔系に関係する筋・神経支配	オリジナル編集問題の解答・解説	2
4 回目	下顎運動の分析に関係する基準点・基準面　咬合に関する平面	オリジナル編集問題の解答・解説	2
5 回目	下顎位　下顎の基本運動　下顎の限界運動	オリジナル編集問題の解答・解説	2
6 回目	咬合器の使用目的　機構と分類　フェイスボウトランスファー　咬合採得	オリジナル編集問題の解答・解説	2
7 回目	国家試験対策①		2
8 回目	国家試験対策②		2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する、小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本　顎口腔機能学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.11

授業科目名	顎口腔機能学実践　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	顎実-2024-2実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	火～金　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1～4回	口腔内を印象から模型調整までを行い作業模型の製作法を習得する	担当　小口	8
5～8回	顎の運動を確認、習得してチェックバイトを製作する	担当　小口	8
9～10回	顔弓を構造、使用法を習得してﾌｪｲｽﾎﾞｳﾄﾗﾝｽﾌｧｰができるようにする	担当　小口	4
11～14回	上顎ならびに下顎の模型を咬合器に正しく装着できるようにする	担当　小口	8
15回目	顆路角の調整と切歯路角の調整が出来るようにする	担当　小口	2

評価方法	total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.12

授業科目名	歯科理工学　基礎　1　　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理基1-2024-1講-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	火　曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1限　9:00～10:30	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	歯科技工と歯科理工学　講義ガイダンス		2
2 回目	物質の構造、機械的性質と試験法		2
3 回目	歯科材料の性質		2
4 回目	印象材　ハイドロコロイド系		2
5 回目	印象材　ラバー系、　非弾性、模型材との関係		2
6 回目	模型材　石膏の種類		2
7 回目	石膏の一般的性質		2
8 回目	原型　ワックス		2
9 回目	レジン　加熱、常温重合の組成		2
10回目	加熱重合レジン製作		2
11回目	常温重合レジン、一般的性質、その他の成形法		2
12回目	義歯床関連材料、硬質レジン		2
13回目	陶材焼成		2
14回目	陶材の性質		2
15回目	焼付用陶材　オールセラミック　その他の歯科材料		2
		total	30

評価方法

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.13

授業科目名	歯科理工学　基礎　2　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理基2-2024-1講-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	火　曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1・2 限　9:00～10:30　10:40～12:10	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	主な歯科用金属　歯科用合金	2
2 回目	貴金属合金	2
3 回目	非貴金属合金	2
4 回目	歯科用金属まとめ	2
5 回目	鋳造理論　埋没材	2
6 回目	石膏系、非石膏系埋没材	2
7 回目	埋没、加熱操作	2
8 回目	鋳造操作	2
9 回目	鋳造機の種類、鋳造体の処理	2
10回目	鋳造欠陥	2
11回目	金属の加工、接合	2
12回目	合金の熱処理 その他の歯科材料	2
13回目	補綴物の仕上げ 機械研磨、化学研磨	2
14回目	補綴物の仕上げ　器具、機械	2
15回目	補綴物の安定性　歯科技工の安全性	2
	total	30

評価方法

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.14

授業科目名	歯科理工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理応-2024-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月　曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	3　限　13:00　～　14:40	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科理工学基礎1，2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質,印象採得編		2
2 回目	東京都問題の検証と解説、模型材（石膏）、原形（ワックス）編		2
3 回目	東京都問題の検証と解説、レジン成形、セラミック成形編		2
4 回目	東京都問題の検証と解説、合金、埋没材編		2
5 回目	東京都問題の検証と解説、鋳造、加工、接合、熱処理、仕上げ編		2
6 回目	1　埼玉問題の検証と解説		2
7 回目	2　埼玉問題の検証と解説		2
8 回目	1　千葉問題の検証と解説		2
9 回目	2　千葉問題の検証と解説		2
10 回目	1　北海道問題の検証と解説		2
11回目	2　北海道問題の検証と解説		2
12回目	1　大阪問題の検証と解説		2
13回目	2　大阪問題の検証と解説		2
14～15回	1 、2 宮城問題の検証と解説		4
評価方法		total	30

学期末試験、卒業試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.15

授業科目名	歯科理工学実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理実-2024-1実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	(前　期)・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	火～金　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科材料の基礎的な製作過程と歯科技工に用いる使用機器、機材の扱い方と特性を実習をとおして理解する

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～8回	石膏の操作練習	石膏材料の操作を習得する	担当　永嶋	16
9～12回	ワックスの操作練習	ワックス材料の操作を習得する	担当　永嶋	8
13～15回	レジンの操作練習	レジン材料の操作を習得する	担当　永嶋	6

評価方法	total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.16

授業科目名	歯科理工学実験　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理験-2024-1実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	火　曜日　8回　32時間		携　帯　－　－
時　限	3・4限　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	
1 回目	石膏の硬化膨張	担当　永嶋	4
2 回目	埋没材の熱膨張	担当　永嶋	4
3 回目	金属の加工硬化	担当　永嶋	4
4 回目	ワックスの性質	担当　永嶋	4
5 回目	レジンの重合	担当　永嶋	4
6 回目	印象材の硬化時間	担当　永嶋	4
7 回目	鋳造体の適合性	担当　永嶋	4
8 回目	陶材の焼成	担当　永嶋	4

評価方法　32

実験データをレポートにまとめ提出

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.17-1

授業科目名	有床義歯技工学 （全部床義歯）　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学 歯学部 石川 千恵子 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
授業コード	有-2024-1講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修・選択必修		
学 年	1年・2年		
学 期	前 期・後 期		TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月 曜日 15 /30 回 30/60時間	単位	携 帯 - -
時 限	3 限 13:00 ～ 14:30	2単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 全部床義歯製作の順序を理解する。

※ 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画・内容 （進度・予定）		備 考	時間
1 回目	全部床義歯技工学概説と製作順序		2
2 回目	形態的・機能的基礎知識		2
3 回目	審美的基礎知識　全部床義歯の特性		2
4 回目	印象採得・解剖学的ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ・印象とﾄﾚｰ		2
5 回目	精密印象と作業模型・作業模型の処理		2
6 回目	咬合床の製作		2
7 回目	咬合器・咬合器装着と調節・Go-A描記装置の取り付け		2
8 回目	人工歯の種類と選択		2
9 回目	排列・歯肉形成		2
10回目	埋没の前準備と埋没		2
11回目	流蝋・義歯床用レジンの重合		2
12回目	咬合器の再装着		2
13回目	人工歯の削合		2
14回目	復習		2
15回目	研磨・修理・リベースとリライン・金属床		2
		total	30

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.17-2

授業科目名	有床義歯技工学 （部分床義歯） 講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又真奈美
授業コード	有-2024-1講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月 曜日　15 /30 回 30/60時間	単位	携　帯　－　－
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ

※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	部分床義歯の特性、製作順序、構成要素		2
2 回目	部分床義歯の特性、義歯の分類		2
3 回目	印象採得、咬合採得		2
4 回目	クラスプの製作、サベイング		2
5 回目	支台装置		2
6 回目	連結子、義歯床、人工歯		2
7 回目	バーの製作、排列から完成		2
8 回目	欠損による分類方法		2
9 回目	印象採得		2
10回目	咬合採得、咬合器装着		2
11回目	クラスプの製作		2
12回目	部分床義歯の構成要素		2
13回目	排列、重合、研磨完成		2
14回目	オーバーデンチャー、金属床義歯		2
15回目	ノンクラスプデンチャー、ジルコニアフレーム		2
評価方法		total	30

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	教員　三又　真奈美　※歯科技工所勤務経験　有

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.18

授業科目名	有床義歯技工学 応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	有応-2024-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修・選択必修		
学 年	1年 ・ 2年		
学 期	前 期・後 期		TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	木 曜日 15 回 30時間	単位	携 帯 - -
時 限	1・2限 9:00～10:30 10:40～12:10	2単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 （進度・予定）		備 考	時間
1 回目	有床義歯技工学概説、全部床義歯の製作	教科書 P.3～47	2
2 回目	全部床義歯の製作、咬合器装着から義歯の研磨	教科書P.48～102	2
3 回目	部分床義歯の構成要素と各分類、支台装置の種類	教科書P.104～146	2
4 回目	部分床義歯の連結装置、義歯床、人工歯、	教科書P.147～157	2
5 回目	部分床義歯の製作	教科書P.158～230	2
6 回目	義歯修理、リベース、オーバーデンチャー、金属床、その他の有床義	教科書P.231～273	2
7 回目	有床基礎知識の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
9 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
10回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
11回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
12回目	修理等の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
13回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
14回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
15回目	国試対策、全部床義歯の問題の傾向と対策		2
		total	30

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.19-1

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習 （全部床）	講義 実技 演習	担当教員
授業コード	全実-2024-1実-前期		連絡先
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		
曜日・回数	月～金　曜日　45回　90時間		
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		

担当教員：新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校
教員　三又　真奈美
※歯科技工所勤務経験　有

連絡先：
〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
TEL　045 － 472 － 5223
携　帯　－　－
E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～3回	咬合床の製作	基礎床の成型	担当　三又	6
4～5回	咬合床の製作	咬合提の成型	担当　三又	4
6～10回	全部床義歯の製作	製作法を習得する	担当　三又	10
11～12回	全部床義歯の製作	咬合器装着	担当　三又	4
13～19回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作・人工歯排列	担当　三又	14
20～24回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作・歯肉形成	担当　三又	10
25～32回	全部床義歯の製作	床材料の置換	担当　三又	16
33～38回	全部床義歯の製作	咬合調整	担当　三又	12
38～45回	全部床義歯の製作	研磨・完成	担当　三又	14

評価方法　total　90

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 5 年 3 月 31 日

No.19-2

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習（部分床）　講義 ・ 実技 ・ 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	部実-2023-1実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・ 選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　30回　60時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2 回	部分床義歯の製作	設計	担当　永嶋	4
3～6回	部分床義歯の製作	模型調査	担当　永嶋	8
7～11回	部分床義歯の製作	維持装置の製作	担当　永嶋	10
12～14回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作・人工歯排列	担当　永嶋	6
15～17回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作・歯肉形成	担当　永嶋	6
18～27回	部分床義歯の製作	床材料の置換	担当　永嶋	20
28～30回	部分床義歯の製作	研磨・完成	担当　永嶋	6

評価方法	total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.20-1

授業科目名	歯冠修復技工学　基礎　（講義）・実技・演習	担当教員	山本歯科医院 山本　鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	歯基-2024-1講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	（必　修）・選択必修		
学　年	（1年）・　2年		
学　期	（前　期）・（後　期）		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月 曜日　25 回　50時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1限　9:00 ～ 10:30	3単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。

※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ」。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	1歯冠修復技工学の概要　2クラウンの概要と種類	2
2 回目	4クラウンとブリッジの具備要件6歯冠修復物と部分被覆冠　7全部被覆冠	2
3 回目	4クラウンとブリッジの具備要件3　ブリッジの概要と種類	2
4 回目	8ブリッジ	2
5 回目	5　クラウンとブリッジの製作（1臨床ステップの概要　3研究用模型スタディモデル）	2
6 回目	5　クラウンとブリッジの製作（4印象用トレー　5支台築造）	2
7 回目	5　クラウンとブリッジの製作（6テンポラリークラウン・ブリッジ　7色調選択）	2
8 回目	5　クラウンとブリッジの製作（8作業用模型　9咬合器装着）	2
9 回目	5　クラウンとブリッジの製作（10クラウンに与える咬合　11ワックスアップ）	2
10回目	5　クラウンとブリッジの製作（12埋没　13鋳造作業　14　連結法）	2
11回目	5　クラウンとブリッジの製作（15調整　16研磨　17試適・仮着・合着）	2
12回目	5　クラウンとブリッジの製作（18レジン前装冠　19陶材の築盛・焼盛　20クラウンの不具合の原因）	2

評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.20-2

授業科目名	歯冠修復技工学　基礎　講義・実技・演習	担当教員	山本歯科医院 山本　鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁

13回目	5　クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要　3研究用模型スタディモデル)	2
14回目	5　クラウンとブリッジの製作(3研究用模型スタディモデル　4印象用トレー)	2
15回目	5　クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー　5支台築造)	2
16 回目	5　クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ　7色調選択)	2
17 回目	5　クラウンとブリッジの製作(8作業用模型　9咬合器装着)	2
18 回目	5　クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合　11ワックスアップ)	2
19 回目	5　クラウンとブリッジの製作(12埋没　13鋳造作業　14　連結法)	2
20 回目	5　クラウンとブリッジの製作(15調整　16研磨　17試適・仮着・合着)	2
21 回目	5　クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠　19陶材の築盛・焼盛　20クラウンの不具合の原因)	2
22 回目	6　歯冠修復物と部分被覆冠　7全部被覆冠(レジン前装冠　陶材焼付金属冠)	2
23 回目	7　全部被覆冠(ジャケットクラウン)　8　ブリッジ	2
24 回目	8　ブリッジ　9　インプラント	2
25 回目	9　インプラント　10　CAD/CAMシステム	2
	total	50

評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.21

授業科目名	歯冠修復技工学 応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	歯応-2024-2講-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修・選択必修		
学 年	1年 ・ 2年		
学 期	前 期・ 後 期		TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月 曜日 10 回 20時間	単位	携 帯 - -
時 限	1限 9:00 ～ 10:30	1単位	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復物及び架工義歯を製作できるようにするために、口腔内での機能及び形態に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 （進度・予定）		備 考	時間
1 回目	トレー・印象材～		2
2 回目	作業模型トリミング～		2
3 回目	プロビジョナル・レストレーション		2
4 回目	蝋形成・埋没・鋳造		2
5 回目	インレー・クラウン～		2
6～7回	レジン前装冠関係～		4
8～9回	ポーセレン関係～		4
10回目	鑞付け・フラックス～		2

評価方法	total	20

提出作品および中間テストと学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.22

授業科目名	歯冠修復技工学基礎実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	冠基-2024-1実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	(前　期)・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	火～金　曜日　23回　46時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。

歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2回	インレーの製作	蝋原型製作	担当　勝田	4
3～5回	インレーの製作	埋没・鋳造・研磨・完成	担当　勝田	6
6～10回	クラウンの製作	模型製作	担当　勝田	10
11～16回	クラウンの製作	蝋原型製作	担当　勝田	12
17～18回	クラウンの製作	埋没・鋳造	担当　勝田	4
19～23回	クラウンの製作	研磨・完成	担当　勝田	10

評価方法	total	46

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	冠応-2024-1実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～木　曜日　75回　150時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2回	レジン前装冠の製作	模型製作	担当　勝田	4
3～5回	レジン前装冠の製作	蝋原型製作	担当　勝田	6
6～10回	レジン前装冠の製作	窓開け	担当　勝田	10
11～14回	レジン前装冠の製作	埋没・鋳造	担当　勝田	8
15～19回	レジン前装冠の製作	前装部形態修整	担当　勝田	10
20～23回	レジン前装冠の製作	歯冠色レジンの築盛	担当　勝田	8
24～27回	レジン前装冠の製作	レジン部形態修整	担当　勝田	8
27～28回	レジン前装冠の製作	研磨・完成	担当　勝田	4
29～34回	ブリッジの製作	模型製作	担当　勝田	12
35～44回	ブリッジの製作	蝋原型製作	担当　勝田	20
45～52回	ブリッジの製作	埋没・鋳造	担当　勝田	16
53～56回	ブリッジの製作	メタル調整・レジン築盛	担当　勝田	8
57～62回	ブリッジの製作	レジン部形態修整	担当　勝田	12
63～69回	ブリッジの製作	研磨・完成	担当　勝田	14
70～75回	クラウンの反復練習	蝋原型製作の習得	担当　勝田	10
			total	150

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.24

授業科目名	歯冠修復先進技工　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	冠実-2024-2実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期 ・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	金　曜日　30回　60時間		携　帯　－　－
時　限	1・2時限　9:00～10:30　10:40～12:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※

新しく開発された歯冠修復の技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～5回	CAD/CAMの構成	説明、模型製作	担当　勝田	10
6～10回	CAD/CAMを使用したモデルスキャン、デサ	調整～シンタリング	担当　勝田	20
11～23回	CAD/CAMを使用したセラミックワーク	フレーム調整、築盛	担当　勝田	16
24～30回	CAD/CAMを使用したセラミックワーク②	ステイニング、グレージング	担当　勝田	14

評価方法		total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・学期末テストによって評価する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日　No.25

授業科目名	小児歯科技工学基礎　講義・実技・演習	担当教員	神奈川歯科大学短期大学部　特任教授 西村　康
授業コード	小児-2024-2講-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	木 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1 限　9:00 ～ 10:30	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

顎・顔面、歯列、歯などから構成される総合的咀嚼器官の正常な育成のために、小児歯科医療は成長発達期のものを対象として顎口腔領域の疾患や異常の予防と治療を行い、健康の維持増進を図っている。小児歯科技工学においては、正常な育成を阻害する疾患や異常に対して、機能回復、予防をはかる修復物や装置を製作することが意義として挙げられている。そのためには小児の特性および生理的変化をよく理解して、それが技工物に反映できることが重要である。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	
1 回目	小児歯科技工学の概説、成長発育段階、全身の成長発育	教科書 P.1～9	2
2 回目	成長発育と年齢、小児の年齢評価、顎・顔面の成長発育	教科書 P.9～14	2
3 回目	歯の萌出時期（乳歯・永久歯）、乳歯の形態的特徴	教科書P.15～21	2
4 回目	歯列の発育変化①	教科書P.18～29	2
5 回目	歯列の発育変化②	教科書P.29～33	2
6 回目	小児の齲蝕、小児の歯冠修復	教科書P.34～37、プリント	2
7 回目	保隙装置（固定保隙装置、可撤保隙装置）、口腔習癖	教科書P.38～60	2
8 回目	スペースリゲーナー、口腔習癖除去装置、咬合誘導装置に用いる	教科書P.61～80	2
	維持装置		

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.26

授業科目名	小児歯科技工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又　真奈美 ※歯科技工所勤務経験　有
授業コード	小児-2024-2講-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月・木 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	4 限　14:40 ～ 16:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※小児の成長発育、乳歯の特徴、小児の歯冠修復、口腔誘導に関わる装置について理解を深める。

※1. 小児の成長発育について説明できる。2. 小児の年齢評価について説明できる。3. 乳歯の特徴および歯の萌出順序について説明できる。4. 乳歯列の特徴について説明できる。

5. 混合歯列期の特徴について説明できる。6. 小児の歯冠修復について説明できる。7. 咬合誘導装置について説明できる。8. 咬合誘導装置に関する各種維持装置について説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	小児の成長発育		2
2 回目	小児の年齢評価		2
3 回目	乳歯の特徴、乳歯・永久歯の萌出順序		2
4 回目	乳歯列期の特徴		2
5 回目	混合歯列期の特徴		2
6 回目	小児の歯冠修復		2
7 回目	咬合誘導装置		2
8 回目	咬合誘導装置に関する各種維持装置		2
		total	16

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.27

授業科目名	小児歯科技工学実習　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	小実-2024-2実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～木　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　小児の補綴物を製作できるようにするために、乳歯の特徴と成長発育に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～9回	可徹性保隙装置　製作	補綴物の説明・製作ができる	担当　小口	18
10～15回	固定性保隙装置　製作	補綴物の説明・製作ができる	担当　小口	12

評価方法		total	30
	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.28

授業科目名	矯正歯科技工学基礎　講義・実技・演習	担当教員	野田歯科医院 野田　晃司
授業コード	矯正-2024-2講-前期	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	木 曜日　8回　16時間	単位	
時　限	3 限　13:00 ～ 14:30	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正歯科技工学の基礎や治療のメカニズムを理解し、矯正装置の種類、製作法を習得する。

※各種不正咬合に対応した矯正装置を適切に制作できる人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	矯正歯科技工学概論	2
2 回目	正常咬合と不正咬合	2
3 回目	矯正治療の進め方と矯正装置の選択	2
4 回目	矯正器具、器材	2
5 回目	矯正装置の種類・分類	2
6 回目	矯正治療(矯正装置の使用法)	2
7 回目	矯正線の屈曲法(実習)	2
8 回目	自在鑞付け(実習)	2

評価方法　total　16

小テスト、提出物、学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.29

授業科目名	矯正歯科技工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又　真奈美 ※歯科技工所勤務経験　有
授業コード	矯正-2024-2講-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		TEL　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月・木 曜日　8回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	4 限　14:40 ～ 16:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正治療の目的や不正咬合の特徴、矯正のメカニズムや各種矯正装置について理解を深める。

※1. 正常咬合について説明できる。2. 不正咬合について説明できる。3. 矯正歯科技工の器具の取り扱いについて説明できる。4. 線屈曲の方法と自在鑞付けについて説明できる。

5. 矯正用口腔模型の種類と違いについて説明できる。6. 矯正力や固定源による矯正装置の分類ができる。7. 動的矯正装置の目的と製作を説明できる。8. 静的矯正装置の目的と製作を説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	正常咬合	2
2 回目	不正咬合	2
3 回目	矯正歯科技工用器具と器械、材料	2
4 回目	矯正技工の基本的手技	2
5 回目	矯正用口腔模型	2
6 回目	矯正装置の分類	2
7 回目	動的矯正装置の目的と製作	2
8 回目	静的矯正装置の目的と製作	2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.30

授業科目名	矯正歯科技工学実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	矯実-2024-2実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～木　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科矯正治療の補綴物を製作できるようにするために、矯正のメカニズムと各種装置に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～6回	矯正装置　製作	補綴物の説明・製作ができる	担当　小口	12
7～12回	保定装置　製作	補綴物の説明・製作ができる	担当　小口	12
13～15回	平面屈曲	屈曲を習得する	担当　小口	6

評価方法　total　30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.31

授業科目名	先進技工実習Ⅰ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又　真奈美 ※歯科技工所勤務経験　有
授業コード	先Ⅰ-2024-1実-前期・後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	(前　期)・(後　期)		TEL　045 - 472 - 5223
曜日・回数	月～金　曜日　30回　60時間		携　帯　- -
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～11回	CAD/CAM練習	CADの操作を習得する	担当　三又	22
12～30回	CAD/CAM練習	CADのデザインを習得する	担当　三又	38

評価方法		total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・学期末テストによって評価する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.32

授業科目名	先進技工実習Ⅰ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又　真奈美 ※歯科技工所勤務経験　有
授業コード	先Ⅰ-2024-2実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)　・　後　期		TEL　045 - 472 - 5223
曜日・回数	月～金　曜日　68回　136時間		携　帯　- -
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～11回	マウスガード　製作	製作法を習得する	担当　三又	22
12～36回	マウスガード　製作	使用感などを理解する	担当　三又	50
37～58回	校外実習	相手の事を理解する実習	担当　三又	44
59～63回	就職情報の分析	就職に関する知識を広げる	担当　三又	10
64～65回	義歯・架工補綴物の習得実習	補綴物の説明・製作ができる	担当　三又	4
66～67回	彫刻特別授業	歯の形態を理解し習得する	担当　片川	4
68回	架工補綴物の習得実習	架工補綴物の製作を習得する	担当　菅野	2
			total	136

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・学期末テストによって評価する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.33

授業科目名	先進技工実習Ⅱ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	先Ⅱ-2024-2実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	前　期　・　(後　期)		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　90回　180時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～4回	TEC　製作	TECの知識と製作法を習得する	担当　小口	8
5～31回	CAD/CAM練習	CADのデザインを習得する	担当　三又	54
32～34回	Wax Up練習	歯の形態、機能を習得する	担当　三又	6
35～53回	陶材焼付冠の製作	製作法を習得する	担当　小口	38
54～90回	ｺﾊﾞﾙﾄｸﾛﾑ部分床義歯製作	製作法を習得する	担当　小口	74
			total	180

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・学期末テストによって評価する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.34

授業科目名	総合歯科実習Ⅰ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	総Ⅰ-2024-1実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・　2年		
学　期	前　期 ・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　60回　120時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

模型製作の方法と制限時間内に石膏模型を製作する技術を習得する。

部分床義歯の石膏埋没方法の習得と完成にに至るまでの過程技術の習得

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～6回	模型製作	練習用模型製作	担当　勝田	12
9～15回	クラウンの反復練習	蝋原型製作の習得	担当　勝田	18
16～21回	合同実習	他業種連携における知識の習得	担当　勝田	12
22～41回	全部床義歯反復練習	前歯排列までを習得	担当　勝田	40
42～50回	定期試験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当　勝田	18
51～60回	ワイヤー屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当　勝田	20

評価方法		total	120

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学・歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.35

授業科目名	総合歯科実習Ⅱ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	総Ⅱ-2024-1実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　100回　200時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～12回	模型製作	練習用模型製作	担当　永嶋	24
13～32回	ブリッジ、前装冠、クラウン　ワックスアップ	ブリッジ、前装冠、クラウン反復練習	担当　永嶋	40
33～62回	全部床義歯反復練習	前歯排列までを習得	担当　永嶋	60
63～72回	定期試験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当　永嶋	20
73～90回	ワイヤー屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当　永嶋	36
91～100回	マウスガード　製作	製作法を習得する	担当　三又	20

評価方法	total	200

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学・歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.36

授業科目名	総合歯科実習Ⅲ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　三又　真奈美 ※歯科技工所勤務経験　有
授業コード	総Ⅲ-2024-2実-前期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期 ・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　68回　136時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～22回	実習使用模型製作	臨床的模型での製作法の習得	担当　三又	44
23～39回	全部床義歯実習	蝋義歯完成までを習得	担当　三又	34
40～58回	全部床義歯実習	患者を想定した製作法を習得	担当　三又	58

評価方法	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・学期末テストによって評価する。	total	136
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 6 年 3 月 31 日

No.37

授業科目名	総合歯科実習Ⅳ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	総Ⅳ-2024-2実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-8
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		TEL　045 － 472 － 5223
曜日・回数	月～金　曜日　68回　136時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～8 回	全部床義歯実習	蝋義歯完成までを習得	担当　小口	16
9～13回	義歯の名前入れ	災害時等の義歯紛失を防止できる	担当　小口	10
14～68回	歯科技工士に必要な能力の反復練習	歯型彫刻・屈曲・ﾃﾞｯｻﾝを習得	担当　小口	110

評価方法	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・学期末テストによって評価する。	total	136
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			